

重点戦略	暮らしを支える安心戦略
プロジェクト	地域でつくる福祉環境プロジェクト

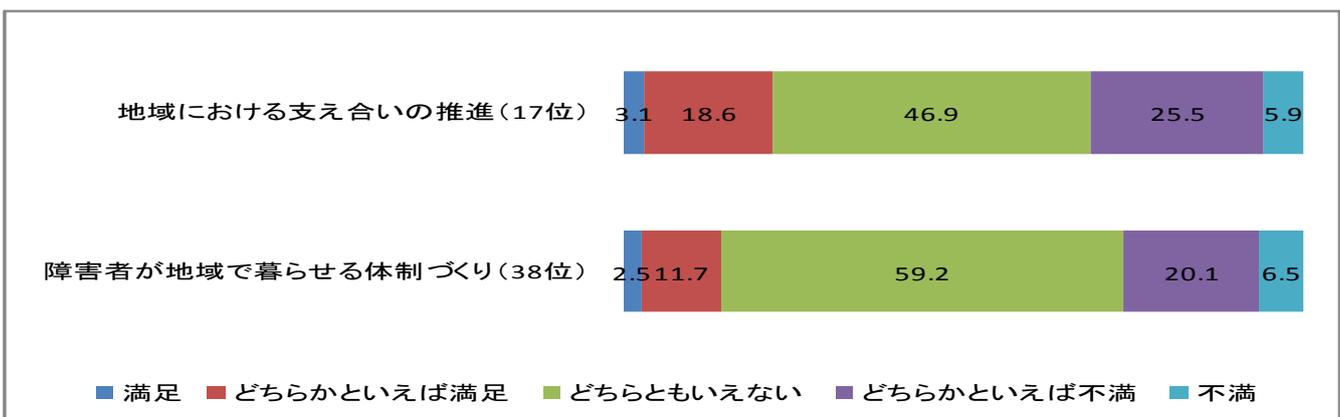
1 プロジェクトの概要

目 標	高齢者や障害のある人が、家庭や住み慣れた地域の中で、安心して自立した生活を送ることができる環境をつくります。
重点的取組	☆地域における支え合いの推進 ☆障害者が地域で暮らせる体制づくり

2 成果指標等の状況

成果指標	基準 (基準年)	目標 (H27)
①介護を必要とする高齢者1万人当たりの特別養護老人ホーム等定員数 ----- 出典：県保健福祉部調べ	1,844人 (H21)	2,600人
②障害者雇用率 ----- 出典：厚生労働省「障害者の雇用状況について」	1.58% (H22)	1.80%

【平成22年度県民満足度調査結果（満足度）】



3 プロジェクトの展開方針

☆地域における支え合いの推進

○福祉・介護職員の確保と資質向上 ○地域で福祉を支えるボランティア人材の養成
①福祉・介護職員の養成と定着促進 高等学校訪問などにより、福祉の仕事の魅力を伝えるとともに、既に資格を持っている方々の再就業支援のための研修などを実施します。 ②介護支援ボランティア制度の導入促進 高齢者の社会参加や介護予防を進めるため、市町村の介護支援ボランティア制度導入などを促進していきます。
○地域住民による支え合い体制構築や相談支援体制の充実
①地域包括支援センターの機能強化 地域包括ケアの中核的機能を担う地域包括支援センターが実施する包括的支援事業などを支援していきます。 ②高齢者の見守りネットワーク構築やサロン等の居場所づくりの促進 すべての市町村において「高齢者見守りネットワーク」の構築を目指すとともに、地域ぐるみで高齢者の孤立防止や生きがいづくりを図るため、サロン等の居場所づくりを促進します。
○高齢者の多様な住まいの確保
①特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等の計画的な整備促進 県高齢者支援計画（はつらつプラン21）に基づいて、計画的に施設整備を進めていきます。 ②高齢者に配慮した公的賃貸住宅の計画的な提供の促進 高齢者の多様なニーズに合った住まいを提供していくため、高齢者の住まいの安定確保に関する計画を策定し、計画的に施設の整備を進めていきます。

☆障害者が地域で暮らせる体制づくり

○関係機関の連携による質の高い相談支援体制の整備
①障害者の生活を支える地域における相談支援ネットワークの構築 多様なニーズや専門性の高い相談に対応するため、各地域の関係機関が連携した相談支援体制を強化していきます。 ②相談支援専門員の資質向上 市町村の相談支援体制を充実強化するとともに、相談支援専門員の研修などを実施していきます。
○就労支援の一層の充実
①工賃アップに向けた障害者就労支援事業所への支援強化 栃木県工賃倍増5カ年計画に基づく取組を進めるとともに、障害者の働く施設で作られた製品の販路拡大等を支援していきます。 ②障害者就業・生活支援センター等による就労支援の充実 障害者就業・生活支援センターにおいて、各障害者就労支援事業所やハローワークなど関係機関と連携して、障害者の就業や生活を支援していきます。